

稲武商工会活性化計画

【計画期間

H30年度 ~ H33年度】

1 現状と課題の分析

①地域概況	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市の北東部、長野県と岐阜県との県境に位置しており、面積の約87%が山林に占められている「矢作川の水源のまち」である。 ・塩の道（中馬街道）として有名な飯田街道（国道153号）と美濃街道（国道257号）が交差する宿場町として栄えた歴史がある。 ・大井平公園やどんぐりの湯等の観光資源の整備が進み、観光客の増加が期待される。 ・地域住民と来訪者の交流や街並み景観の向上を目指し「歩かまい稲武（ウォーキング大会）」「花街道いなぶ（花飾り事業）」他、多くの事業に取り組んでいる。 			
②最寄り駅	名鉄豊田市駅	③最寄り駅からの距離	約4.5km	
④商店街区域	市道稲武線を中心とした稲武地域全体			
⑤商店街区域内の商店数	84店舗（H29年4月1日現在）			
⑥うち組合加入店舗数	20店舗 がカード会事業に参加	⑦うち空き店舗数	3店舗	
⑧商店街の加入店舗構成	生鮮三品（3店 3.6%）、衣料品（3店 3.6%）、その他小売り（31店 36.9%）			
	飲食店（28店 33.3%）、サービス（19店 22.6%）、その他（店 %）			
⑨商店街の特徴、強み	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域を含めた広域な商圈を有しており、規模は小さいが、最寄り品から買回り品まで多様な店舗が存在する。 ・交通の便が悪く、車がないと買物にも不自由する。 			
⑩来街者 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 高齢者		主婦	ファミリー
	<input type="radio"/> 若者		観光客	その他()
⑪来街者交通手段 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 徒歩		自転車	バス
	<input type="radio"/> 自家用車		鉄道	その他()
⑫来街者の来街に要する時間 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/> 15分未満		15分以上30分未満	30分以上1時間未満
	<input type="radio"/> 1時間以上			
⑬商店街等が抱える課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・稲武地区の人口減少（11年で21.9%減少(H29.4.1現在)）及び高齢化（高齢化率42.2%(H29.4.1現在)）に比例して、店主の高齢化や後継者不足が進み、組合員数及び会員（顧客）数の双方が減少することが懸念される。 ・時代にあう、あるいは魅力ある品揃えが困難となり商店の魅力が薄れ、客離れが進むことが懸念される。 ・カード会事業参加店舗数が20店舗であり、商店数全体の23.8%程度と少なく、事業の魅力（＝顧客メリット）が乏しい。 			
⑭地域住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年8月に稲武地域内全戸（997世帯）に対して、買物に対するアンケートを実施したところ、主に以下の意見等が出された。（アンケート回収率54.9%） ・車に頼らないと買物ができない状況であり、今後への不安を感じる。 ・時々行くだけの人には、態度が冷たいと感じる。 ・欲しい時に、欲しいものが揃わない。 ・地元で買い物をしたことがない方も多く、地元の商店は何でも高いというイメージが強い。 ○毎年9月～10月にかけて、稲武地域内の各地区に出かけてヒアリング調査を実施したところ、主に以下の意見等が出された。 ・コープ岐阜等の利用や、地域外に買い物に出かける人が多い。 ・店の対応に不満を持っている人も多い。 			

2 商店街の目指す将来像及び目標

①商店街の目指す将来像	<p>「皆さまのお買い物・生活・コミュニティに対応できる稲武商店街を目指します」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い商業者等への人材育成を行っていくことで、後継者不足の解消を図る。 ・稲武の名前を市外に対して積極的に発信し、魅力ある商品づくりを行うことで、販路拡大を図る。 ・お買い物だけでなく、ポイントカード事業（ネコちゃんカード）をさらに活用することで、会員数の獲得を目指し、また、コミュニティ強化を図る。 			
②基本目標 (4年後の達成目標 数値)	○カードの加盟店舗数の増加			
	平成30年度 21店舗	平成31年度 22店舗	平成32年度 24店舗	平成33年度 26店舗
	○歩行者通行量の増加			
	平成30年度 [平日] 120人 [休日] 180人	平成31年度 130人 190人	平成32年度 140人 200人	平成33年度 140人 200人

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

作成日 平成30年1月18日

①事業名	人材育成事業
②実施予定時期	平成30年 4月 ~ 平成34年 3月
③具体的内容	(リーダー研修会) ・商店街の中心となるべき次世代のリーダーを育成するため、商店街の後継者から希望者を募り、5人程度で研修会を立ち上げ、テーマを絞って月1回程度の研修会を実施する。また、テーマに合わせて講師を招聘する。 ・研修テーマに応じて視察も組み入れる。(1回程度) ・報告書を作成し、今後の活性化計画に活かす。
④必要性・目的	地域の過疎化や高齢化も大きな問題であるが、それ以上に店主の高齢化が問題である。免許を返納し配達や仕入に支障が出てきた事業主もあり、商店街の活気が失われつつある。このような状況を打破するには、次世代リーダーの育成が喫緊の課題である。 また、このリーダー研修を通して、参加者にリーダーとしての自覚が芽生えることにつながる。
⑤ターゲット・コンセプト	豊田市稲武地区商店街等の後継者
⑥事業費・採算性の説明	事業費：190,000円 (内訳) 報償費 120,000円 (専門家謝金・旅費) 消耗品費 40,000円 雑費 30,000円 ※専門家の招聘には、ミラサポやあいち産業振興機構等の専門家派遣事業等を活用し、最小限の経費に抑える。但し、登録専門家だけで賄えない事もあるので、講師への報償費も見込む。
⑦新規取組内容、改善点(先導性、先進性、モデル性等)	実際に自店の経営計画の作成をしていただく。更に、自ら作成した経営計画を、受講者が互いに発表していただき、経営計画の実行性を上げる。
⑧事業効果	リーダー研修会を通して、参加者それぞれが事業計画(商店街、個店)を作成する。 参加者1人1件
⑨目標 評価指標 測定手法	・平成33年度の研修参加事業者(累計)20名 ・本事業への研修参加を把握。
⑩推進体制	豊田市、ミラサポ及びあいち産業振興機構等と連携を取りながら推進
⑪関連計画や事業(地域の動き等)	稲武地域まちづくり推進協議会

4 計画期間の事業スケジュール

	30年度【1年目】	31年度【2年目】	32年度【3年目】	33年度【4年目】
事業	9月~10月 募集・企画 11月~2月 研修会の実施 3月~ 検証	9月~10月 募集・企画 11月~2月 研修会の実施 3月~ 検証	9月~10月 募集・企画 11月~2月 研修会の実施 3月~ 検証	9月~10月 募集・企画 11月~2月 研修会の実施 3月~ 検証
予算(千円)	190	190	190	190
関連計画や事業	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会
目標達成状況	研修参加事業者(累計)5名	研修参加事業者(累計)10名	研修参加事業者(累計)15名	研修参加事業者(累計)20名

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

作成日 平成30年1月18日

①事業名	ギフト受注事業
②実施予定時期	平成30年 4月 ~ 平成34年 3月
③具体的内容	<p>【パンフレット作成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各個店で扱うギフト商品を稲武のギフトとしてまとめたパンフレットを作成する。 ギフト商品のない事業所は、この事業をきっかけにギフト商品の開発を行う。 作成したパンフレットは、自治区長を通して各戸に配布し、稲武産のギフトを利用していただけるような活動を行う。 各自治区長を通し稲武出身者にパンフレットを送るための情報をいただけるよう働きかける。 稲武産ギフト受注事業のパンフレットを、豊田市内の事業所へも送付できるよう働きかけていく。 <p>【ネット通販事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットによるギフト受注状況に応じて、ネット販売も視野に入れた活動を行っていく。
④必要性・目的	<ul style="list-style-type: none"> 稲武産ギフトをつくることにより、お中元・お歳暮だけでなく、いろいろな場面で稲武産の商品を使うきっかけとなり、販路拡大につながる。 稲武出身者等の稲武ファンも多くいるはずである。そんな稲武ファンを発掘し、稲武産ギフトで稲武を応援いただけるよう働きかける。 自社製品は持っているが、ギフト商品を持っていない事業所があり、これを機会にギフト商品を開発し販売チャネルを増やすことができる。
⑤ターゲット・コンセプト	豊田市稲武地区住民・出身者並びに市内事業所
⑥事業費・採算性の説明	<p>事業費：1,232,000円</p> <p>(内訳) 通信費 36,000円 (切手代) @360×100 広報費 324,000円 (パンフレット等印刷) 消耗品費 702,000円 (ギフトボックス、封筒、伝票 他) 報償費 170,000円 (専門家謝金・旅費)</p>
⑦新規取組内容、改善点(先導性、先進性、モデル性等)	<p>ギフトの名称は「中馬街道物語」とし、稲武地域に限定せず他地域(中馬街道沿線)との連携も視野に入れて、魅力的なギフトを目指す。</p> <p>ギフトには「中馬街道」を題材にした読物を封入し、次号が楽しみになる仕掛けを検討する。</p> <p>また、ギフトには温泉入浴券やイベントの利用券等を封入し、稲武を訪れるきっかけを提案する。</p>
⑧事業効果	ギフト商品の開発や周知活動により、新たな顧客を獲得するきっかけにし、個店の売上アップにつなげる。
⑨目標 評価指標 測定手法	<ul style="list-style-type: none"> 平成33年度の利用件数：400件、利用金額：1,200千円 稲武産ギフト受注事業の利用件数及び金額
⑩推進体制	(株)どんぐりの里いなぶ及び自治区長と連携を取りながら推進
⑪関連計画や事業(地域の動き等)	稲武地域まちづくり推進協議会

4 計画期間の事業スケジュール

	30年度【1年目】	31年度【2年目】	32年度【3年目】	33年度【4年目】
事業	6月～ 事業検討、商品リストアップ、顧客リストアップ 他 9月～ ギフト企画(歳暮用) 11月～ ギフト発送 2月～ 検証	4月～ ギフト企画(中元用) 7月～ ギフト発送 9月～ ギフト企画(歳暮用) 11月～ ギフト発送 2月～ 検証	4月～ ギフト企画(中元用) 7月～ ギフト発送 9月～ ギフト企画(歳暮用) 11月～ ギフト発送 2月～ 検証	4月～ ギフト企画(中元用) 7月～ ギフト発送 9月～ ギフト企画(歳暮用) 11月～ ギフト発送 2月～ 検証
予算(千円)	1,232	1,232	1,232	1,232
関連計画や事業	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会
目標達成状況	利用件数：200件 利用金額：600千円	利用件数：350件 利用金額：1,050千円	利用件数：380件 利用金額：1,140千円	利用件数：400件 利用金額：1,200千円

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

作成日 平成30年1月18日

①事業名	街並みの灯り事業
②実施予定時期	平成30年 4月 ~ 平成34年 3月
③具体的内容	(街並みに灯りを設置) ・商店街の中心地点の空地にシンボリックなイルミネーションの装飾を実施する。 ・各商店に、間伐材で作ったランプシェード等を飾る。 (イベント) ・商店街の年末商戦に合わせて、小学生・中学生の作品を会場内に展示するとともに、演奏等のイベントを実施する。 ・来場者に対しては、抽選会を実施し、地元で買い物をしたことのない方を中心に顧客の開拓をはかる。
④必要性・目的	高齢化や過疎化が進む稲武地区にとって、地元商店が事業を通して、多くの方々と交流を深め、売上の向上を図ることが重要である。
⑤ターゲット・コンセプト	豊田市稲武地区及び周辺の住民並びに観光客
⑥事業費・採算性の説明	事業費：510,000円 (内訳) 会場設営費 129,600円 (電気工事、設営撤去) 消耗品費 194,400円 (イルミネーション、材料費) 印刷製本費 72,408円 (チラシ印刷、折込料) 報償費 100,000円 (出演料) 雑費 13,592円 (振込手数料 他)
⑦新規取組内容、改善点(先導性、先進性、モデル性等)	商店街ではポイントカードで抽選会に参加いただいていたが、今後は、年末催事限定の抽選補助券を用意し、年末売出しへの来店者数や売上金額が把握できるような仕組みが構築できるように見直しを行い、今後の事業の基礎資料とする。
⑧事業効果	・街並みに灯りがある風景の演出、それに伴うイベントの実施により、商店街の賑いを創出し、年末商戦の集客をはかる。 ・ポイントカード加盟店によるイベントとして、加盟店商品券等の賞品により、加盟店への誘客に努めることにより、新たな加盟店舗の増加を目指す。 ・また、小学生・中学生に作品制作で参画していただくことにより、その親等の来場が期待され新たな顧客獲得につながる。
⑨目標評価指標測定手法	・平成33年度の来店者数 約2,180人 ・年末売出し期間中(12/15~12/30頃)の来店者数 ・ヒアリング及び抽選補助券枚数で測定
⑩推進体制	・稲武小学校・稲武中学校と連携し、子供たちの作品展示等を行う。 ・どんぐりの里いなぶ20周年事業実行委員会との連携を図る。
⑪関連計画や事業(地域の動き等)	・どんぐりの里いなぶ20周年事業 ・稲武地域イベント等調整委員会

4 計画期間の事業スケジュール

	30年度【1年目】	31年度【2年目】	32年度【3年目】	33年度【4年目】
事業	10月~11月 企画・準備 12月中旬 イベント 2月~ 検証	10月~11月 企画・準備 12月中旬 イベント 2月~ 検証	10月~11月 企画・準備 12月中旬 イベント 2月~ 検証	10月~11月 企画・準備 12月中旬 イベント 2月~ 検証
予算(千円)	510	510	510	510
関連計画や事業	どんぐりの里いなぶ20周年事業	稲武地域イベント等調整委員会	稲武地域イベント等調整委員会	稲武地域イベント等調整委員会
目標達成状況	対前年度来店者数3%アップ 約 2,000人	対前年度来店者数3%アップ 約 2,060人	対前年度来店者数3%アップ 約 2,120人	対前年度来店者数3%アップ 約 2,180人